【問い合わせ先】
島根県病害虫防除所［担当：角・澤村］
ＴＥＬ：０８５３－２２－６７７２
ＦＡＸ：０８５３－２４－３３４２

令和２年度　病害虫発生予察情報　技術情報第４号

令和２年７月17日
島根県病害虫防除所

水稲におけるコブノメイガの発生状況について

コブノメイガの発生が平年に比べて多くなっています。発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除をお願いします。

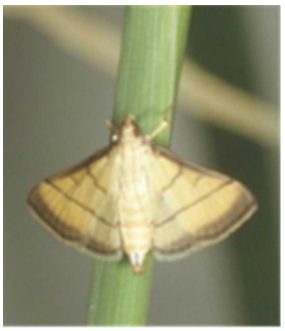
１　現在の発生状況

１）７月中旬の巡回調査において、25株見取り調査で発生ほ場率37.0％（平年6.2％）、寄生株率15.9％（平年0.15％）と平年に比べ多い。また、一部地域では被害株率が50～100％のほ場が認められる。

２）現時点で飛来は６月上旬から７月中旬にかけて複数回あったと考えられる。

３）今後も梅雨明けまでは飛来の可能性があるため注意が必要である。

４）中国地方１か月予報（７月18日～８月17日、広島地方気象台７月16日発表）によると、向こう１か月の気温は本種の発生を抑制する要因とはならない。


コブノメイガ成虫

２　予想されるコブノメイガ発生予測パターン

気温（7月15日までは今年の気温、それ以降は過去30年間の平年値）を用いたJPP-NET有効積算温度計算シミュレーションから発生予測パターンを作成しました。発生消長把握の参考としてください。気温はアメダス（出雲）を使用。

注）7/15以降の気温が平年と大きく異なった場合は、本予測パターンと異なることがあります。

３　防除対策及び防除上の注意事項

１）防除適期は粒剤は発蛾最盛期に、液剤と粉剤は発蛾最盛期の７日後（若齢幼虫期）である。ほ場での発生状況を確認し、防除を行う。

２）葉色の濃いほ場では多発生する傾向があるので注意する。

３）薬剤の使用に当たっては、農作物病害虫雑草防除指針の注意事項を遵守する。

４）最新の農薬登録情報は、独立行政法人農林水産消費安全技術センターＨＰ（http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vt11m000.html）で確認できる。